

# ひとりから

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2024年11月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少年センター  
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199  
TEL : 075-354-3440 FAX : 075-371-6171  
E-mail : oyc@higashihonganji.or.jp



託仁寺日曜学校



## 子ども会ではない子ども会

### 蓮ちゃん通信 その①

2024年11月23日(土・祝)

### 「子ども報恩講のつどい」 を真宗本廟で開催します!

ご家族そろって報恩講にお参りして、子どもたちが親鸞聖人や真宗本廟に触れる機縁となることを願っております。本年度で13回目を迎えます。御影堂でのお勤めやお話、精進カレー・お楽しみの時間もあります!

詳細は青少年センターHPやFacebookにて。

URL 及び QRコードは  
最終ページに掲載しています。



青少幼年センター幹事 <sup>ふじ かわ ひで ゆき</sup> 藤川 秀行

3年前、自坊山門の前にある古い農業倉庫をリノベーションし、寺カフェをはじめた。カフェといっても営利目的ではなく、地域のコミュニティスペースとして開放。基本は朝から夕方まで毎日開けっ放し。お年寄りだけでなく、学校帰りの子どもたちや、子育て中のお母さんが、置いてあるおもちゃやマンガを読みに来てくれる。飲み物とお菓子を出して一緒に食べながら世間話。少子高齢化の村なので、誰も来ない日もある。いや、むしろ来ない日の方が多い。

名前は「村の居間Ageha」

Agehaとは寺紋のアゲハチョウ。本堂では月に2回の日曜学校を続けているものの、小学生はついに一桁になってしまった。これまでは、中学生になると、お寺に来ることがなくなってしまっていたが、卒業した中高生や大学生がカフェに他地域の友達を連れて、ふらっと遊びに来るようになった。こうした子どもたちが「仏間」である本堂にあがることはないし、呼びかけて開催する会でもない。しかし、「居間」に立ち寄り子どもたちや、子育て中のお母さんたちとの何気ない時間は、私にとって大切な「子ども会」の時間となっている。

# 子ども報恩講のついでい(法話)

大谷大学長 一楽真

## ようこそ東本願寺へ

皆さんこんにちは。よく来てくださいました。ありがとうございます。

東本願寺はどんなところか、よく知っているとします。目の前に親鸞聖人という方のお木像がありますね。今から800年ほど前、この日本におられた方です。800年って、皆さんの、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、ひいおじいちゃんひいおばあちゃん、それを30回くらい数えると800年くらいになります。そのようにずっといのちは続いてきているんですが、そのつながりの中で、私たち自身の生き方や人生のことを今ここで考える。大事な場所です。

## いのちをいただく

なぜ息ができると思いますか？肺が元気だから、ということだけではありません。植物たちが酸素を出してくれているので、息を吸ったら呼吸が続くわけです。だから私の体だけで生きてるわけじゃないんですね。それから、毎日食べてるご飯もそうです。魚たち、お肉たち、あるいはお野菜たち。これ

はどうやって皆さんのところに来ているんですか？太陽が照ってくれなかったら、どれだけ人間が頑張ってもダメなんです。雨が降ってくれて水があるから、お野菜もできるんですね。だから食事の前に「いただきます」と言っています。あれは「いのちをいただいています」という言葉です。いのちをいただいている私たちの体がちゃんとして動いているのですね。いのちをいただいているおかげなんです。

## いのちの歴史

赤ちゃんのときのことを覚えてますか？赤ちゃんとしてこの世に出てくる前はお母さんのお腹の中にいたんですね。初めは小っちゃいんですけど、お魚のようなしっぽがある形なんです。それがだんだんしっぽが取れて、手ができていくという、そういう風に言われています。お母さんのお腹の中に、だいたい10か月くらいいるのですが、そのときに宇宙の45億年の歴史、あるいは生き物が誕生してからの数億年の歴史を持っているのです。皆さんはそういういのちをいただいているのですね。

## 子どもたちと聞く法話

### みんな大事ないのち

さきほどの「ちかひのことば」の3番目、覚えていますか？「わたくしたちはみんななかよくいたします」でしたね。みんななかよくというのは、「どのいのちもみんな大事な人なんです。誰とも交換することができない、本当に一回限りの大事ないのちです。そのことを親鸞聖人は800年前に私たちに教えてくれました。もう少しさがいのちの大事さというのを教えてくれたんですね。でも私たちはどうで



しょうか。思い通りにならないとすべ腹が立つ。気に入らない人がいると、あの人なんか大嫌いと言ってしまう。みんな仲良くなかなかできないんですね。でも大事でないのちはひとつもない。だからそれを大事にしましょうね、ということをお親鸞聖人やお釈迦さまは教えてくださっているのです。

### 南無阿弥陀仏を称える

このいのちの大事さというのは、忘れがちです。だから、大事だということをお出ししてほしいんです。そのためにどうするか。それが親鸞聖人が教えてくれた「南無阿弥陀仏」という言葉です。これは、どこにいても、なにをしていても、称えることができます。「南無阿弥陀仏」と称えて、いのちの大事さということ、誰とも代われないということ、45億年という宇宙の歴史ともつながっているということ、これをお出ししてほしいのです。だから、この「南無阿弥陀仏」という言葉だけは忘れないようにしてください。そして、どのいのちも大事なんだということを「南無阿弥陀仏」の言葉と共に思い出してもらえればと思います。

そうしたら「南無阿弥陀仏」を5回、一緒に称えたいと思います。南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、なんまんだぶつ、なんまんだぶつ。ありがうございました。

あ い う え お

ひとりからはじめる  
イベントレシピ

# カードであそぼう!!

あ～んのカードを使って、物の名前を見つけ出すゲームです。  
ひらがなを覚え始めた幼児から大人までいろいろな世代で楽しめます。



用意するもの

- 5cm四方の厚紙50枚
- 油性ペン
- 輪ゴム (片付け用)



好きな色で  
ひらがなを  
書こう!!

作り方

1枚の厚紙に あ～ん の50音を一字ずつ書く(50枚で1組)。  
何組も作る場合は、組ごとに文字の色を変えると片付けやすいよ。

遊び方

カードをバラバラに広げて、  
お題にそって単語を探し出して並べよう!

ポイント

年齢や学年に応じて、お題やルールを変えてみよう!!

幼児～低学年

例 5分間で3文字の食べ物の名前を、  
いくつ探せるかな?

み かん と う ぶ あ い す

中学年～

例 5分間で日本の地名を、  
いくつ探せるかな?

さ い た ま こ う ち な ら

高学年～

例 3分間で、できるだけ長い単語を探そう!

か み ひ こ う き ゆ う え ん ち

みんなで  
ルールを  
考えてみよう!



ポイント

個人戦でもチーム戦でも遊べます!  
ハンデやボーナスとして半濁音、濁音、小文字を入れても

ば び だ で ゆ っ



蓮ちゃん通信 その②

## キャラクターはなびら販売中!

東本願寺キャラクターの、あかほんくん、蓮ちゃん、鸞恩くんのはなびらを販売中。  
散華として、しおりとして、メッセージカードなどさまざまな形で使えます。

● 価格 550円 (税込) ● ご注文は東本願寺出版まで TEL.075-371-9189



# 「ひとりから」はじめる仏事

子どもたちに  
伝えてみませんか？

※大正時代、本山社会課から『児童と宗教』という児童教化の指導者のための雑誌が発刊されていました。そこには、先輩方が伝えてくださった遺産がたくさん。このコーナーでは、そこに連載されていた「教案」から、私たちの生活の中の仏事に関するものをサガエさんがリライトしてお届けします!!

※本山社会課…社会と寺院をつなぐべく初めて派内に設置された宗務組織。宗派の青少年教化を担っていた。

## ほう おん こう 報恩講

親鸞聖人は9歳のときに得度してお坊様になられ、比叡山で20年の修行生活をされました。29歳のとき法然上人の「南無阿彌陀仏」のお念仏の教えに学ばれます。そして、親鸞聖人は私たちが何よりも大切にすべきお念仏の教えを広め伝えられたご生涯でした。このご恩と感謝の法要が「報恩講」として毎年11月28日に行われています。



親鸞聖人の言葉があります。

ひとりゝよこ ふたりおも  
一人居て喜ば、二人と思ふべし、  
ふたりゝよこ みたりおも  
二人居て喜ば、三人と思ふべし、  
いちにん しんらん  
その一人は親鸞なり。

親鸞聖人はいつもわたしたちの傍そばにいて  
くださいます。

出典：幡谷淳信 11月行事「報恩講」  
『児童と宗教』2巻10号より、一部抜粋、現代語訳  
リライト：“サガエさん”こと佐賀枝夏文

ボクはこんな風に話してみました



さ が え なつ ぶみ  
佐賀枝 夏文  
(大谷大学名誉教授)

「報恩講」は、わたしたちにとって一番大切なことを教えていただいた親鸞聖人の記念の日です。「報恩講」はこの一年のおわりとして、これからの一年のはじまりとするといいいね。

## コーナーの活用例

- ① 本文「報恩講」をそのまま覚えて話す。または、ご自身の表現で話す。
  - ② プリントして配布し、朗読する。
- 上記以外にもその場に合わせご活用ください!

本文のPDFデータは、青少年センターホームページ「子どもとあそぼう」のコーナーからダウンロードいただけます。

◎「あそこの店のラーメンおいしいから食べてみて、と勧めるようにお念仏も勧められたらいいな」という先輩の言葉が、ずっと耳の底にとどまっています。人に何かを勧めるには、その魅力を自分自身が感じていなければなりません。私はお念仏を子どもにお勧めできています。子どもも報恩講を迎えるたびに考えています。

(編集長 池崎方子)

◎昨年11月に青少年センターへ異動後、初めて編集後記執筆の機会をいただきました。先般前任地でお世話になった若坊守会の方とお話しする機会があり、今の子どもは習い事や多様な学歴社会などで私が子どもの頃以上に忙しいことが印象に残りました。その一方テレビでは、時間に縛られて悩んでいる子どももいることがあがってありました。

そういう子どもたちの悩みの声を聴いていくことから、私ははじめていきな思っています。

(青少年センター書記 水野一行)

編集後記



真宗大谷派の青少年教化の情報をお届けします。  
https://www.facebook.com/oyc.hitorikara/  
※facebookの個人アカウントをお持ちでなくてもご覧いただけます。

●真宗大谷派(東本願寺)青少年センター TEL.075-354-3440



青少年センターホームページ

東本願寺 青少年センター

検索

ぜひ、ご覧ください!!